

## 令和4年度事業報告

令和4年4月1日より令和5年3月31日までの事業概要は以下の通り。

### 【1】社員総会

#### [1-1] 第63回定時社員総会

- (1) 開催日時 令和4年5月20日(金) 14時00分～15時00分
- (2) 開催場所 KKR ホテル東京 11階会議室「白鳥の間」  
住 所 東京都千代田区大手町1-4-1
- (3) 出席者 社員総数22社 出席社員15名（委任状の提出者7名）
- (4) 議案

##### 第1号議案 令和3年度事業報告承認の件

事業報告書に基づいて概要説明を行った後、議長が質問意見を求めたが特に発言がなく、続いて議長が承認を図ったところ異議無く原案通り可決承認された。

##### 第2号議案 令和3年度収支決算報告承認の件

計算書類に基づいて説明が行われた。その後監事を代表して宗方監事より監事報告がなされたうえで、議長が質問意見を求めたが特に発言がなく、続いて議長が承認を図ったところ異議無く原案通り可決承認された。

##### 第3号議案 令和4年度事業計画承認の件

令和4年度事業計画について説明が行われた。議長が質問意見を求めたが特に発言がなく、続いて議長が承認を図ったところ異議無く原案通り可決承認された。

##### 第4号議案 令和4年度収支予算承認の件

令和4年度収支予算について議案資料に基づき説明が行われた。議長が質問意見を求めたが特に発言がなく、続いて議長が承認を図ったところ異議無く原案通り可決承認された。

##### 第5号議案 理事辞任に伴う新理事補欠1名選任の件

正会員である株式会社京三製作所から会社代表者変更届と理事辞任届が提出されたので、新理事1名の補欠選任を行う旨専務理事より説明があった。議長が意見を求めたが特に発言が無かった為事務局案が説明され、議長が承認を図ったところ異議無く事務局案通り可決承認された。

## 補欠選任理事候補者名簿

補欠選任理事候補者		理事辞任届け提出者	
氏名	会社名・役職	氏名	会社名・役職
くに さわ りょう じ 國 澤 良 治	(株)京三製作所 代表取締役 社長執行役員	と こ だい つとむ 戸 子 台 努	(株)京三製作所 取締役 会長

本総会の終結の時が新旧理事の交代時となり、任期は前任者の残存期間（令和 5 年度定時社員総会終結の時）となる。

以上をもって第 63 回定時社員総会提出議案の審議は全て終了し、15 時に閉会した。

### [ 1 - 2 ] 第 63 回定時社員総会 総会行事

開催日時 令和 4 年 5 月 20 日(金) 15 時 30 分～18 時 00 分

(5) 令和 4 年度表彰式（信号貢献賞・信号功労賞）

(6) 記念講演会

講師 国土交通省鉄道局 技術企画課 課長 権藤 宗高 様

演題 最近の鉄道技術行政の動向について

(7) 意見交換会

コロナウイルス感染防止対策を実施したうえで開催した。

## 【 2 】 理事会

### [ 2 - 1 ] 第 1 回理事会

(1) 開催日 令和 4 年 5 月 20 日(金) 13 時 30 分～14 時 00 分

(2) 開催場所 KKR ホテル東京 11 階会議室「白鳥の間」

(3) 出席者

理事総数 12 名      監事総数 2 名      合計 14 名

出席理事 12 名      出席監事 2 名      合計 14 名

(4) 議案

第 1 号議案      令和 3 年度事業報告承認の件

第 2 号議案      令和 3 年度収支決算報告承認の件

第 3 号議案      令和 4 年度事業計画承認の件

第 4 号議案      令和 4 年度収支予算承認の件

第 5 号議案      理事辞任に伴う新理事補欠 1 名選任の件

(5) 審議及び決議

提出された第 1 号～第 4 号決議議案はすべて可決承認され、第 5 号議案も異議無く承認され、社員総会への付議が了承された。

[2-2] 第 2 回理事会

(1) 開催日 令和 4 年 5 月 20 日(金) 15 時 00 分～15 時 10 分

(2) 開催場所 KKR ホテル東京 11 階会議室「白鳥の間」

(3) 出席者

理事総数 12 名      監事総数 2 名      合計 14 名

出席理事 12 名      出席監事 2 名      合計 14 名

(4) 議案

第 1 号議案 代表理事（副会長）選定の件

(5) 審議及び決議

提出された決議議案はすべて可決承認された。

○ 代表理事（副会長）

法人名	氏名	協会役職	記事
(株)京三製作所	くに しま りょう じ 國 澤 良 治	代表理事・副会長	新任

[2-3] 第 3 回理事会

(1) 開催日 令和 4 年 11 月 9 日(金) 15 時 30 分～16 時 40 分

(2) 開催場所 大同信号株式会社 本社 会議室

東京都港区新橋 6-17-19 新御成門ビル

(3) 出席者

理事総数 12 名      監事総数 2 名      合計 14 名

出席理事 12 名      出席監事 1 名      合計 13 名

(4) 議案

第 1 号議案 令和 4 年度上期事業報告承認の件

第 2 号議案 令和 4 年度上期決算報告承認の件

第 3 号議案 令和 4 年春・秋の叙勲受章者の件

第 4 号議案 令和 5 年春の叙勲候補者推薦承認の件

第 5 号議案 賛助会員 代表者交代の件

(5) 審議及び決議

提出された第 1 号～第 4 号決議議案はすべて可決承認され、第 5 号議案の報告も異議無く承認された。

[2-4] 第 4 回理事会

(1) 開催日 令和 5 年 3 月 22 日(水) 13 時 00 分～14 時 30 分

(2) 開催場所 品川インターシティ・ホール棟 (H 棟) B1 階 会議室 3  
東京都港区港南 2-15-4((株)京三製作所 東京事務所 近傍)

(3) 出席者

理事総数 12 名	監事総数 2 名	合計 14 名
出席理事 11 名	出席監事 2 名	合計 13 名

(4) 議案

第 1 号議案	令和 4 年度事業報告承認の件
第 2 号議案	令和 4 年度通期決算報告 (予測) 承認の件
第 3 号議案	令和 5 年度事業計画 (案) 承認の件
第 4 号議案	令和 5 年度収支予算 (案) 承認の件
第 5 号議案	令和 5 年秋の叙勲候補者推薦承認の件
第 6 号議案	令和 5 年度信号貢献賞・信号功労賞候補者承認の件

(5) 審議及び決議

提出された第 1 号～第 6 号決議議案はすべて可決承認された。

【3】 運営幹事会 (令和 4 年度)

運営幹事会の構成

幹事長 藤原 健(日本信号)、嶺 孝志(京三製作所)、上田 卓正(三工社)、小林 浩明(信号器材)、平井 俊雄(大同信号)、梅原 岳久(てつでん)、村田 崇臣(東邦電機工業)、中島 勇(吉原鉄道工業) 以上 8 社 8 名及び協会事務局 2 名の計 10 名で構成。

令和 4 年度上期は、第 1 回～第 3 回は協会事務所での対面会議であったが、新型コロナウイルス感染症第 7 波の影響で、第 4 回～第 5 回は Ms Teams による Web 会議とした。下期はすべて協会事務所での対面会議とした。

## 1. 第1回(R4.4.27)

- (1) 令和3年度3月度月次収支報告及び令和3年度通期決算報告  
期末の累計収入の合計は予算比で99%、累計支払い合計は、予算比で93%となった。
- (2) 令和3年度第4回理事会  
会議録にて報告
- (3) 第63回定時社員総会・令和4年度第1回・第2回理事会について  
5月20日開催予定である社員総会、第1回・第2回理事会と総会行事は通常議案のほか「新理事補欠1名選任」「代表理事（副会長）選任」の議案を上程する。
- (4) 第63回定時社員総会行事について  
表彰式・記念講演会・意見交換会は新型コロナの感染防止対策を実施し対面で行う。
- (5) 会報第50号編集委員会  
第50号記念で巻頭言は当協会に関係の深い方に依頼することで検討する。
- (6) 令和4年春叙勲  
日本信号元社員、齋藤 謙一<sup>さいとう けんいち</sup>氏のⅡ類叙勲の内示があった。正式には4月29日の発令となる。
- (7) 運輸安全委員会（事故調）特定任期付き職員の派遣について  
令和4年8月1日より2年間の次期派遣者の選定を依頼された。
- (8) セーフティネット保証5号に係る業況調査について  
毎年の陸運機器調査を参考に各会員会社の要望も踏まえて、「希望無」を報告。
- (9) 運営幹事会の予定、その他

## 2. 第2回(R4.6.2)

- (1) 令和4年度4月度月次収支報告  
本会員・賛助会員からの4月からの会費収入についての報告。支出は通常通り推移。
- (2) 令和4年春の叙勲  
日本信号（株）元社員、齋藤 謙一<sup>さいとう けんいち</sup>氏の瑞宝単光章が正式に発表された。
- (3) 第63回定時社員総会、第1回・第2回理事会について  
概要を報告。

(4) 第 63 回定時社員総会行事について

新型コロナウイルス感染症対策を実施したうえで、対面で開催した。特に表彰式（信号貢献賞・信号功労賞）と意見交換会は、3年ぶりの開催となった。

(5) 会報第 50 号編集委員会

巻頭言は国土交通省大臣官房技術審議官 <sup>おくだ</sup> <sup>かおる</sup> 奥田 薫 様にご寄稿いただけることが決まった。その他原稿内容の確認、依頼。

(6) Emotet メール対応・協会の IT 環境の対応について

5月中旬から他協会からの Emotet メールと思われる多数の不審メールを受信した。当協会の IT 関係を構築・保守を担当している業者と共に警視庁が公開している方法で感染の有無チェックとウイルスチェックを行った。ほかにウクライナ侵攻をきっかけに、サイバーセキュリティ対策でファイアーウォールの FW 更新、他 NTTcom の基幹システムの更新対応を行った。

(7) 運輸安全委員会（事故調）特定任期付き職員の派遣について

日本信号様と京三製作所様より各 1 名の推薦をいただき、運輸安全委員会事務局へ提出した

(8) 国土交通省より鉄道行政関連の周知連絡

(9) 運営幹事会の予定、その他

3. 第 3 回(R4.6.23)

(1) 令和 4 年度 5 月度・月次収支報告

会費収入は順調に推移、支出は総会費用ほか予定通り。

(2) 令和 2 年秋～令和 4 年春叙勲受章者宮殿内見学について

8～9 月上旬に宮殿内見学を実施する旨連絡があり、当協会からは 3 名の参加希望を国土交通省鉄道局担当へ提出した。

(3) 賛助会員の代表者変更の件

（株）保安サプライ様より代表者変更届が提出された。新代表者は <sup>みやべかねひこ</sup> 宮部金彦様。第 3 回理事会での報告事項となる。

(4) 会報第 50 号の件

7 月に発行する旨報告。

(5) 運輸安全委員会（事故調）特定任期付き職員の派遣について

運輸安全委員会に提出した推薦書により日本信号株式会社 <sup>かがわ</sup> <sup>たくや</sup> 香川 卓也様が職員派遣候補者となった。

(6) 国交省\_陸運機器等に関する調査依頼

7 月に調査が実施されるため準備を依頼。

- (7) 国土交通省よりインターシップ推進などの周知
- (8) JARTS より海外鉄道関連の情報
- (9) 令和 4 年度鉄道関係功労者大臣表彰受賞候補者の推薦について  
本年は候補者が不在の為、推薦は無い。
- (10) 運営幹事会の予定、その他

#### 4. 第 4 回(R 4 .8.25)

- (1) 令和 4 年度 6 月度及び 7 月度月次収支報告  
会費入金は予定通り、支出は会報の印刷費を計上し、ともに順調に推移している。
- (2) 令和 2 年秋～令和 4 年春叙勲受章者の宮殿内見学会の件（延期）  
コロナウイルス感染急拡大（第 7 波）により実施は「延期する」との連絡があった。延期後の日程は改めて調整を行うとの事。
- (3) 令和 5 年春の叙勲候補者推薦の件  
第 3 回理事会、第 4 号議案
- (4) R Q M S 協議会について（中間報告）  
令和 4 年度第 1 回理事会が 6 月 29 日に実施された。当協会からは日本信号（株）<sup>もりさだ</sup>森貞様、（株）京三製作所<sup>はた</sup>畑様、大同信号（株）<sup>かのう</sup>加納様の 3 名が参加。「IRIS 認証の使い勝手向上策」「マネジメント規格のコンサルティングに関する議論」の報告と質疑があった。
- (5) 鉄道信号用電子機器の耐用寿命に関する技術委員会（中間報告）  
本年度に入って 5 回の委員会を実施している。現状は報告書の原案を作成中である。進捗は概ね予定通りであり令和 5 年度第 2 四半期の報告書発刊を目指している。
- (6) 財務省主計局から国交省経由「租税特別措置の適応実態調査」の依頼  
試験研究費に関する租税特別措置の利用状況に関する調査である。8 月 9 日に中間報告を提出、8 月 25 日に最終報告を提出予定。
- (7) 国土交通省より陸運機器に関する調査（令和 3 年度分）  
6 月 30 日に国交省より正式に依頼があった。8 月 16 日に報告書を提出した。
- (8) セーフティネット保証 5 号に関する業況調査依頼  
本年 4 月も「業種指定の希望無」を報告しているが、陸運機器に関する調査も参考に今回も「指定業種の希望無」で報告した。
- (9) 運輸安全委員会（事故調）特定期限付き職員派遣について  
前回報告の日本信号株式会社の<sup>かがわたくや</sup>香川卓也様が正式に決定し、令和 4 年 8 月 1 日より令和 6 年 7 月 31 日までの任期で赴任した。

- (10) JARTS より海外鉄道関連の情報
- (11) 国土交通省より鉄道行政関連の周知連絡
- (12) 運営幹事会の予定、その他

## 5. 第5回(R4.9.22)

- (1) 令和4年度8月度月次収支報告  
8月度月次決算では支出累計が42%となっており、順調に推移している。
- (2) 国交省\_令和4年秋の叙勲内示について  
第3回理事会、第3号議案
- (3) 令和4年鉄道電気受章者祝賀会について  
鉄道電気3協会共催の祝賀会を過去2年コロナ感染症対応で中止としたが、本年は感染防止対策（飲食の提供無、人数制限）を行ったうえで実施することになった。
- (4) 運輸総合研究所シンポジウム・セミナーのご案内  
元技術審議官の江口<sup>えぐち</sup>様よりの紹介です。
- (5) 「価格交渉推進月間」の実施について（周知要請）
- (6) JARTS より情報発信
- (7) 国土交通省より鉄道行政などの周知
- (8) 会報第51号の件
- (9) 信号工業協会の予定
- (10) 運営幹事会の予定

## 6. 第6回(R4.10.20)

- (1) 令和4年9月度月次収支報告  
定期的に決まった支出のみで、支出累計は予算比で47%となった。
- (2) 令和4年度上期決算報告
- (3) 令和4年度第3回理事会・議案報告
- (4) 第49回SKG会
- (5) JARTS 及び運輸安全研究所よりセミナー、講演会のお知らせ
- (6) 国交省よりの情報発信  
価格交渉推進月間(9月)、下請取引適正化推進月間(11月)の周知依頼
- (7) 会報第51号編集委員会
- (8) 令和4年電気関係受章者祝賀会の推進状況報告
- (9) 令和5年新年賀詞交歓会の開催について報告
- (10) 報告事項、運営幹事会の今後の予定



## 7. 第7回(R4.11.24)

### (1)令和4年10月度月次収支報告

会費収入は2社より分割納入分の入金があった。10月までの支出累計は予算比で53%となり堅調に推移している。

### (2)令和4年度第3回理事会報告と第49回SKG会報告

上程5議案についてそれぞれ原案通り異議無く承認された。

### (3)令和5年新年賀詞交歓会

新型コロナウイルス感染症の新規感染数の増加により第8波が懸念されるが、約120名に案内状を郵送した。

### (4)令和4年秋の叙勲受章者への伝達式の中止対応。

受章者の勲章や勲記等物品を国交省に受取に行き、受章された2社の総務部の方にお渡しした。

### (5)令和4年電気関係受章者祝賀会について

### (6)令和5年秋の叙勲候補者推薦の件

国交省からの正式な案内は来ていないが、候補者がいる会社では、事前に推薦の準備を周知した。

### (7)令和5年度信号功労賞、信号貢献賞受賞候補者の推薦について

1月末までの推薦受付、2月の運営幹事会での資格審査、3月の理事会での議案上程をへて、5月の社員総会行事で表彰を行う旨周知した。

### (8)JARTS及び運輸総合研究所のセミナー、講演会のお知らせ

### (9)国交省より情報

新型ウイルス関連（5件）、下請中小企業との取引に関する配慮、しわ寄せキャンペーン実施、海外向け情報（2件）

### (10)報告事項、運営幹事会の今後の予定

## 8. 第8回(R4.12.22)

### (1)令和4年11月度月次収支報告

11月度の会費入金無し。11月までの支出累計は予算比の59%で推移している。

### (2)令和4年電気関係受章者祝賀会の報告

### (3)令和5年新年賀詞交歓会への協力依頼

### (4)令和5年秋の叙勲候補者推薦の件

- (5)令和 5 年信号功労賞、信号貢献賞、受賞候補者推薦の件
- (6)EU での化学物質規制について。⇒[ 5 - 1 ]国土交通省関係に記載
- (7)半導体不足による鉄道関係製造業への影響調査⇒[ 5 - 1 ]国土交通省関係に記載
- (8)JARTS 及び運輸総合研究所のセミナーなどの案内
- (9)国交省情報  
下請取引適正化に関する周知依頼
- (10)連絡事項、運営幹事会の今後の予定

## 9. 第 9 回(R 5. 2. 9)

- (1)令和 4 年度 12 月、1 月度月次収支報告  
12 月、1 年度の会費入金は 2 社の分割納入分で完納となった。また雑収入で賀詞交歓会の参加費の入金があった。12 月、1 月の支出では、通常支出に加えて電気関係受章者祝賀会の分担金、賀詞交歓会費用、会報印刷製本費、など費用を支出した。累計では予算比の 84%となっている
- (2)令和 5 年賀詞交歓会の報告。
- (3)令和 5 年秋の叙勲候補者推薦の件  
第 4 回理事会、第 5 号議案
- (4)令和 5 年度信号功労賞、信号貢献賞候補者推薦の件  
第 4 回理事会、第 6 号議案
- (5)令和 4 年度第 4 回理事会の開催について
- (6)JARTS 及び運輸総合研究所からのセミナー等の案内
- (7)国交省情報  
価格交渉月間のフォローアップ調査結果、セーフティネット保証 5 号に係る業況調査
- (8)連絡事項、協会及び運営幹事会の今後の予定

## 10. 第 10 回(R 5. 3. 16)

- (1)令和 4 年度 2 月度月次収支報告  
収入支出ともに計画通りであるが、電気料金などの高騰がわずかずつであるが支出を増加傾向にしており、令和 5 年度の予算案への影響が懸念される。
- (2)令和 4 年度第 4 回理事会へ上程議案説明
- (3)令和 5 年度、第 1 回・第 2 回理事会、第 64 回定時社員総会について
- (4)JARTS、公官庁からの情報提供。運営幹事会の今後の予定について。
- (5)令和 5 年春の叙勲候補者内定連絡など。

## 【4】QC連絡会

機器関連の事故例の検討および品質情報の交換

QC連絡会委員構成（R4.4.1 現在）

委員長 <sup>きし ゆきお</sup> 岸 幸男（京三）、日本信号 3 名、京三製作所 4 名、三工社 3 名、東邦電機工業 2 名、吉原鉄道工業 3 名、信号器材 1 名、大館製作所 2 名、てつでん 1 名、大同信号 4 名及び協会事務局 2 名の計 26 名。

### 1. 第 297 回（R4.4.20）、対面と WEB 会議合計で 出席者 16 名

新年度に当たり QC 連絡会も 300 回を迎えるので、記念行事(SDGs 講演会)を実施する事、また SDGs の取組についても活発に議論してゆく。また各社より品質情報や QC 情報の報告、ISO 関連の監査報告があった。日東工器製のラッピングツールの製造販売中止についての情報交換をおこなった。

### 2. 第 298 回（R4.5.25）対面と WEB 会議合計で、出席者 14 名

協会の社員総会が 5 月 20 日開催され、代表理事・副新会長に（株）京三製作所の<sup>くにさわ</sup>國澤社長が就任したことを報告した。各社より品質情報や QC 情報の報告、ISO 関連の監査報告があった。第 300 回の特別会を東邦電機工業近辺（海老名駅）行いその後小田急見学会を行う事を決定。

### 3. 第 299 回（R4.6.22）、対面と WEB 会議合計で 出席者 15 名

第 300 回記念講演会として産業評論家の<sup>しんどう ゆうじ</sup>進藤 勇治氏に依頼することとなった。進藤氏は通商産業省で国際協力行政やエネルギー・環境問題の研究を行ってきた方。演題は「SDGs と鉄道産業について」である。8 月 24 日の QC 連絡会と共に WEB 会議で行う。

### 4. 第 300 回（R4.7.20）特別会の為対面で実施 出席者 15 名

第 300 回の特別会ということで東邦電機工業近傍の海老名駅周辺の貸会議室で実施した。300 回の QC 連絡会と 50 号の会報は 25 年続いている歴史がある。今後も活発な会にしてゆく。各社より品質情報や QC 情報の報告、ISO 関連の監査報告があった。その中で変化点管理の未報告や内容の不備が目立つため変化点管理教育について報告があった。

### 5. 第 301 回（R4.8.24）対面と WEB 会議合計 出席者 18 名

前半は第 300 回記念講演会として産業評論家の進藤勇治氏の「SDGs と鉄道産業について」の講演を行った。鉄道産業界や鉄道事業者で実施されている事例の紹介など有意義な講演会となった。後半の QC 連絡会では新型コロナ感染症の

拡大が続いており身近な人にも感染者や濃厚接触者が増えているので、感染対策を再確認し十分注意する。

6. 第 302 回 (R 4.9.21) 対面と WEB 会議合計 出席者 15 名

国交省鉄道局より「鉄道脱酸素官民連携プラットフォーム」の会員募集が行われ会員となった企業より報告があった。2050 年のカーボンニュートラルや SDGs と取組など脱炭素化の実現を後押しする。半導体部品のひっ迫やエネルギー価格の上昇、一部重要部品の生産終了など製造業にとって厳しい状況が続いているが、業界で情報共有できる場所で協力してゆく。品質情報でパナソニック製リレーの不具合報告があった。

7. 第 303 回 (R 4.10.26) 対面と WEB 会議合計 出席者 14 名

気候が寒くなり体調管理や工事での障害が発生しやすい時期に差し掛かっている。最近の工事におけるトラブルは思い違い、確認抜けなどヒューマンエラーが多く、しかも最終試験を実施していれば見つけられた事象が多い。鉄道事業者各社の安全会議などへの出席報告と指摘内容の報告があった。

8. 第 304 回 (R 4.11.30) 対面と WEB 会議合計 出席者 16 名

JR 東電気ネットワーク部よりの事故事例の周知徹底連絡が多くなってきている。特に 2 件の感電事故については他の事業者の安全会議でも話題になっている。ヒューマンエラーに起因する単純なミスが多く、特に電源系は完全に停電していることの確認が必要である。障害調査における実費請求の有無について各社の実態を調査したところ、対応については統一した基準はほぼ無く、ケースバイケースで対応しているケースが多いことがわかった。

9. 第 305 回 (R 4.12.21) 対面と WEB 会議合計 出席者 15 名

ISO の内部監査、外部監査、10 条教育の実施状況、QC 検定の推進状況など品質管理や工事管理に関わる状況を報告した。ISO 外部監査機関の違いや 10 条教育の実施機関が各社異なっているが、それぞれに確実に実施されている。品質情報ではレール絶縁用継目ボルト・ナットに焼き付け現象の報告があった。

10. 第 306 回 (R5.1.25) 対面と WEB 会議合計 出席者 18 名

職場安全の観点から降雪地方において出勤時、退社時に交通事故に遭遇する事態が発生している。特に本年は異常な大雪に見舞われている地区では、工場屋根からの落雪、路面凍結による転倒、などが頻発している。安全衛生委員会などからの注意喚起を実施している。金属材料（黄銅）の表面に保湿剤や消毒剤に含まれているグリセリンによる腐食が発生した事への報告があった。

11. 第 307 回 (R5.2.22) 対面と WEB 会議合計 出席者 15 名

今回は購入した汎用リレーの接点に異物が付着していた問題とレール絶縁部品の異物混入事例の報告があった。汎用リレーについてはリレーケースに使用している

PBT樹脂が接点部に付着していた。メーカー試験時では合格となっていたが振動などで付着した可能性が指摘された。レール絶縁部品の異物は同じ作業台で異なる製品を作業した場合に間違っ梱包したことが原因であった。

12. 第 308 回 (R5.3.22) 対面と WEB 会議合計 出席者 14 名  
従来 Q C 連絡会の委員長はおなじ会社の人物が引き継いできたが、今後は各社持ち回りで担当することを次回の委員会で会則の修正を決議することにした。5月の連絡会から実施する。

## 【5】官公庁関係

### [ 5 - 1 ] 国土交通省関係

#### 1. 陸運機器等に関する調査表の提出

国交省(及び経済産業省)では業況把握及び政策立案のため、鉄道車両、鉄道車両部品、信号保安装置等(以下「陸運機器等」と表現します)の生産額、販売額及び輸出額などを毎年7~8月に調査している。

今年は6月30日に鉄道局車両工業企画室から「陸運機器等に関する調査(令和3年度分陸運機器調査表)」の提出依頼があり、協会正会員22社に調査協力をした結果、21社(8月決算の峰製作所は別協会から提出)から回答を得た。

最終的に21社の調査表を国交省に提出した。

#### 2. 試験研究費に関わる租税特別措置の適応実態調査書の提出

本調査は財務省主税局指示により国土交通省鉄道局車両工業企画室経由で各工業界宛に発信される調査依頼であり、本年は8月5日に調査依頼があった。

内容は「試験研究費に関わる租税特別措置」の利用状況調査で令和元~3年度実績及び令和4年度予定分の調査である。今年度は京三製作所、日本信号、大同信号、三工社の4社分のデータを期日までに提出した。夏季休暇中にもかかわらず前倒しされた日程であったが各社のご協力に感謝する。

#### 3. セーフティネット第5号に基づく業況確認について

セーフティネット保証5号は、全国的に業況の悪化している業種を国が指定し、当該業種に属する事業を行う中小企業者が経営の安定に支障が生じている場合につき、市区町村長の認定を受けることで保証を受けられる制度で、市区町村の認定を受けた中小企業・小規模事業者は、金融機関からの借入れを行う際に信用保証協会の特例保証(一般保証とは別枠で借入額の80%を保証)の利用が可能になる制度である。

売上高等の減少（最近3ヵ月間の売上高等が前年同期比で5%以上減少している等）によって経営が悪化した中小企業者がセーフティネット保証制度第5号による支援を受けるには、その企業の主たる事業がセーフティネット保証5号の「指定業種」であることが前提条件となることから、国交省に対して管轄の業界団体を経由して各企業の四半期ごとの業績を調査している。本年は特に「ロシア・ウクライナ情勢影響業種」にも報告を求められた。

本年の業態調査は5月6日、8月2日、10月31日、2月3日、締め切りで依頼されました。当協会では毎年の陸運機器調査を参考に、各会員企業の要請の有無により業種指定に係る希望の有無を報告してきた。今回も同様に精査し、「希望無」を報告した。

#### 4. RQMS 協議会（鉄道局 技術企画課 車両工業企画室）

鉄道品質マネジメントシステム（RQMS）への対応として（1）IRIS 認証への対応（2）国際的にオープンな RQMS 認証制度の構築、という大きな2つの方向性に基づいた RQMS 協議会（事務局 日本鉄道車輛工業協会）が昨年より開始された。本協会からも日本信号（株）森貞 晃氏、（株）京三製作所 畑 好之氏、大同信号（株）加納 政貴氏の3名を委員として選出し参画している。

本年度は、各課題について専門的に議論する検討チームが立ち上がり、その中での議論の報告を中心として6月29日に本年度第1回 RQMS 協議会として開催された。「IRIS 認証の使い勝手向上施策に係る事項」「マネジメントシステム規格のコンサルティングに関する議論」などが議論された。引き続き、第2回、第3回の協議会が実施され「鉄道品質マネジメントシステムの活動状況」、「RQMS 要求事項の理解及有益な情報の共有と意見交換」などが行われた。

#### 5. 令和4年春・秋の叙勲受章者について

第3回理事会、第3号議案

#### 6. 令和5年春の叙勲候補者推薦について

第3回理事会、第4号議案

#### 7. 運輸安全委員会（事故調）特定期限付き職員派遣について

4月6日に運輸安全委員会 主席鉄道事故調査官より「信号工業協会には運輸安全委員会（事故調）特定任期付き職員の派遣をお願いしているが、現在の派遣者の任期が7月31日までとなる。よって、令和4年8月1日より令和6年7月31日ま

で2年間の次期派遣者を推薦願いたい旨連絡があった。本依頼に対して運営幹事会で協議した結果、日本信号(株)と(株)京三製作所よりそれぞれ1名の推薦があり、運輸安全委員会事務局へ推薦書を提出した結果、日本信号(株)の香川<sup>かがわ</sup>卓也<sup>たくや</sup>氏が派遣候補者となり、運輸安全委員会事務局総務課・人事給与班と日本信号(株)人事課で事務手続きを進めた結果、正式に香川氏が特定期限付き職員として8月1日より赴任した。なお、当協会から職員派遣の累計は今回で8人となった。

## 8. 鉄道脱炭素官民連携プラットフォームについて

国土交通省鉄道局総務課より8月17日に「鉄道脱炭素官民連携プラットフォーム」会員募集の案内が来た。本プラットフォームは、鉄道分野・鉄道関連分野の脱炭素化に向けた取組みの加速化・検討の深化のため、鉄道関係者と省エネルギー・再生可能エネルギー関係の技術や知見を有する企業等がそれぞれの情報を共有、協力体制を構築し、鉄道分野・鉄道関連分野の脱炭素化の実現を後押しすることを目的に設立する。

(鉄道関係者とは、鉄道事業者、鉄道施設・設備・車両製造業者等を指します。)

この趣旨に則り、情報収集の一環として本協会も会員に応募した。なお、第1回プラットフォームは9月27日に、第2回が11月2日、第3回が1月27日、第4階が2月9日に開催された。発表内容は脱炭素に関する取組みの発表であった。なお、今後はWGを立ち上げて検討を進めることで準備をしている。

## 9. EUにおける化学物質PFAS規制について

鉄道局技術企画課より(※1)PFASを使用した製品を規制する議論がEUで行われており、万が一、規制されると幅広い分野で影響を受ける。当該規制に適切に反論

(PFASの必要性・使用できなくなった場合のデメリット・代替品が無いことの説明等)すべく、他の(※2)業界団体が協力を模索しているという情報がもたらされた。

この件につき現状把握に相当な知見が必要で、影響範囲が特定できない為上記協力は保留としたが、今後状況により判断してゆく事とした。

(※1)PFASはパーフルオロアルキル化合物、ポリフルオロアルキル化合物及びこれら塩類の総称で約4700種類ほどある人工的に合成された有機フッ素化合物群の総称で、環境や生態系に悪影響(発がん性等)を及ぼすと指摘されており、EUや欧米で「REACH規制」等への適応が議論されている。日本では法規制は無いが環境省が「知見の集積に努めるべき物質」と位置づけ、科学的根拠に基づいた対応策とその情報発信のあり方について方向性をまとめる事となった。半面、PFASは耐水性、耐脂性、防汚性などに優れた特性を持つため、コーティング剤、界面活性剤、表面処理剤など様々な

用途に使用されてきた。しかし、PFAS は難分解性および生物蓄積がある為欧米を中心に規制強化の動きがある。

(※2)日本フルオロケミカルプロダクト協議会（規制への反論を協議している）

#### 10. 半導体製品不足問題に対する対処方針

国交省鉄道局に鉄道事業者や関連企業より、半導体不足問題に対して「何らかの行動を起こしたい」との要請があり、経産省と協議した結果以下の行動を起こすことにした。

【対応の方向性】半導体業界団体へ文章で協力要請

【要請者】JRグループはJR東（すでに調整済み）、民鉄協、鉄車工、信号工業協会

【要請先】経産省と調整

【協力要請文書】鉄道事業者目線とは別に、製造メーカー目線での要請文を作成（1ヶ月程度）。社会にどのような影響があるかを列挙。

【要請行動】協力要請文書をもって半導体関係団体へ手交し、本活動に協力することとした。

#### [5-2] 経済産業省関係（国土交通省・中小企業庁）

##### 1. 「価格交渉促進月間」の実施について

現在政府では成長と分配の好循環を生み出すべく、民間企業による賃上げの為環境整備に取り組んでいる。下請け企業が付加価値を確保できるよう、コストの適正な価格転嫁が不可欠である。原材料価格やエネルギー価格、労務費などが大きく上昇しており下請け企業へのしわよせを解消しこれらコスト上昇による負担をサプライチェーン全体で適切に分担するためにも価格転嫁は喫緊の課題である。毎年9月と3月を「価格交渉月間」と定め、下請け事業者からのアンケート等によってフォローアップ調査し結果を公表するほか取引適正化に向けた取り組みを強化する。以上会員企業に周知徹底していただきたいとの要請を受けた。9月6日に会員企業各社へメールにて周知した。

#### 【6】 他省庁・他協会関係

##### 1. 令和4年電気関係受章者祝賀会（R4.12.9）開催

鉄道電気3協会共催（日本鉄道電気技術協会、鉄道電業安全協会、信号工業協会）の祝賀会について9月5日に3協会の専務理事、担当部長が集まって打合せを行った。新型コロナウイルス感染症が未だに収束していない状況下で開催の可否を事務局間で協議し、3協会の会長のご了解を得て「コロナ感染防止対策の徹底（飲食の提供無、参加人数の制限）を実施したうえで開催する」とことと決定した。



令和 2～3 年の過去 2 年間は中止となったため 3 年ぶり、ステーションコンファレンス東京で開催する。なお、当協会が幹事協会である。

12 月 9 日に受章者 10 名、来賓を含め 110 名の出席をいただき、盛大に開催した。

## 【7】海外技術協力等

### 1. 海外鉄道技術協力協会（JARTS）（R4.6.15）

第 58 回定時社員総会が開催され、2021 年度事業報告、収支決算報告、2022 年度事業計画、収支予算、役員の選任などの議案が審議された。

## 【8】事業活動関係

### [8-1] 会報の発行

会報第 50 号（令和 4 年 7 月）を発行した。当協会の会報は 1997 年 7 月に創刊号が発刊されてから約 25 年かけて第 50 号の記念号となった。巻頭言には国土交通省大臣官房技術審議官 <sup>おくだ</sup> <sup>かおる</sup> 奥田 薫 様にご寄稿いただいた。協会関係者以外で巻頭言をご寄稿いただくのは初めてであった。また、表紙色の変更（黄色から青へ）、表紙の枠（点線から線路へ）、コラムの開始、など読みやすい紙面を目指して何点か変更した。引き続き会報第 51 号（令和 5 年 1 月）に発行した。巻頭言は國澤副会長にご寄稿をいただいた。

### [8-2] 鉄道信号用電子機器の耐用寿命に関する技術委員会

昨年度より開始した同委員会は上半期に 5 回開催し、報告書の原案を作成中である。従来の報告書で一部曖昧な表現などを見直しながら、鉄道総研の藤田アドバイザーの知見も参考にまとめている。特に注意している点は報告書がいろいろな場面で活用されることを前提に、耐用寿命の考え方、耐用寿命と保証期間に違い、環境からの影響度などを明記している。なお 9 月より(株)てつでんの <sup>みうら</sup> <sup>ながはら</sup> 三浦氏から永原氏へ委員の変更があった。報告書は来年度第 2 四半期の発刊を目指して進めている。3 月時点で原稿の 8 割は完成し、今後査読を進め令和 5 年度の上期の発刊を目指して活動を進める。

### [ 8 - 3 ] 信号工業協会表彰

令和4年度の協会表彰は信号貢献賞 1 名、信号功労賞 8 社 8 名の方々が受賞した。

#### ○信号貢献賞 1 社 1 名

	受賞者名	会社名	協会役員歴
1	なかがみ しょうし 中上 宗嗣	日本産業(株)	理事・監事在籍 6 年 3 か月

#### ○信号功労賞 8 社 8 名

	受賞者名	会社名	部署・役職
1	みやした まさし 宮下 正司	(株)三工社	品質保証部 検査二課 係長
2	せき まさと 関 正登	(株)京三製作所	信号事業部 第 2 技術部テクニカルチーフ
3	てづか とおる 手塚 亨	(株)てつでん	生産本部 品質検査部 リーダー
4	よしだ さとる 吉田 悟	信号器材(株)	鉄道本部生産部生産一課 課長代理
5	さわだけんいちろう 澤田健一郎	吉原鉄道工業(株)	発送管理課 課長
6	しみず ひろゆき 清水 弘行	大同信号(株)	生産本部 浅川事業所 検査部システム検査第一課 課長
7	ひばら ゆたか 桧原 豊	日本信号(株)	久喜事業所 品質保証部 CSG 課長
8	きどころ のぶよし 城所 信喜	東邦電機工業(株)	品質保証室 検査部 嘱託

### [ 8 - 4 ] ホームページの維持管理

協会ホームページは適時更新をしています。4 月以降 3 月までに下記項目の更新を実施した。

- ① トピックスを最新 1 年間の行事に更新
- ② 役員名簿の更新（会社役職の変更）
- ③ 事業報告・会計報告の令和 3 年度分を掲載
- ④ 新事務所の案内図更新
- ⑤ 会員ページの「行事予定」に今後 1 年間の行事を掲載
- ⑥ 会員ページに総会終了後の令和 4 年度信号功労賞受賞者の名簿を貼り付け
- ⑦ 国交省の配席図を随時最新版に差し替え
- ⑧ その他

#### [ 8 - 5 ] 令和 5 年 新年賀詞交歓会

令和 5 年 新年賀詞交歓会は 1 月 4 日（水）K K R ホテル東京で開催した。コロナ禍の開催であり、感染防止の観点から参加人数を絞っての開催となった。来賓、会員会社、叙勲受章者、運営幹事等を合わせて 87 名の参加をいただいた。来賓では国土交通省、奥田技術審議官、権藤課長、以下 5 名、日大中村名誉教授、鉄道総研、渡辺理事長、新井部長、交通安全環境研究所鉄道認証室、坂本理事、佐藤部長、平石室長、の計 11 名であった。当協会の塚本会長の挨拶に始まり、國澤副会長の乾杯のご発声、峰理事の中締めで、盛会のうちに終了した。